



2022年5月6日

**株式会社メディロム、2021年度決算速報を発表**東京都港区台場二丁目3番1号  
株式会社メディロム

米国時間 2022年5月6日、株式会社メディロムは、米国会計基準に基づき作成された2021年12月期の未監査の決算速報を発表しました。

当社は、期末決算報告資料の完成に更に時間が必要とされた為、2021年12月31日に終了した事業年度に係る年次報告書 (Form 20-F) を、所定の期間内に提出すべきでないと判断しました。当社は、2022年4月28日に米国証券取引委員会に Form 12b-25 による遅延申告の届出を行っています。当社は、財務レビューの完了に引き続き取り組んでおり、最新情報が入手可能になり次第、お知らせします。

**2021年通期決算の概要（速報値）**

- 2021年12月期の**売上高**は5,418百万円となり、2020年12月期の3,342百万円から62%増となりました。この増加は、主に直営店舗の収益が増加し、2020年から2021年にかけて倍増したことによるものです。
- 2021年12月期の**売上総利益**は1,432百万円となり、2020年12月期の429百万円から1,003百万円増加しました。この増加は、主にフランチャイズ店舗の売上総利益が改善したことによるものです。
- 2021年12月期の**売上総利益率**は26.4%となり、2020年12月期の12.8%から13.6ポイント増加しました。
- **営業損失**は、2020年12月期の746百万円から、2021年12月期は448百万円と改善しました。売上高の増加が販売費・一般管理費の増加を吸収しました。
- 2021年12月期の親会社株主に帰属する**当期純損失**は、2020年12月期の当期純損失539百万円から942百万円に拡大しました。
- **調整後 EBITDA** は、2021年12月期は▲52百万円となり、2020年12月期の▲543百万円から491百万円改善されました。当社は、調整後 EBITDA を、以下項目を除いた調整後当期純利益（損失）と定義しています：(i)受取配当金および金利、(ii)支払利息、(iii)バーゲンパーチェスによる利益、(iv)その他非現金費用項目、(v)税金費用、(vi)非支配株主に帰属する当期純利益、(vii)減価償却費、(viii)直営店舗売却損、(x)有形・無形の資産処分損、(x)長期性資産に対する減損、(xi)株式報酬費用。当社経営陣は、調整後 EBITDA を、経営陣と投資家の双方に有用な情報を提供する業績評価指標と考えています。なお、調整後 EBITDA は、米国会計原則にもとづく当期純利益やその他の測定値の代替とみなされるべきものではありません。調整後 EBITDA はすべての会社で同じように計算されるわけではないので、当社の調整後 EBITDA の測定値は、他社が用いる同様の測定値と比較できない



可能性があります。計算方法は以下の調整表をご参照下さい。

非 GAAP 基準指標の再調整 (単位：百万円、ただし調整後 EBITDA マージンは除く。)	12 月 31 日	
	2021 (¥)	2020 (¥)
親会社株主に帰属する当期純損失	¥ (942)	¥ (539)
受取配当金および受取利息	(1)	(1)
支払利息	12	13
バーゲンパーチェスによる利益	(1)	-
その他 (純額)	(84)	(131)
法人税等	557	(88)
非支配株主に帰属する当期純利益	11	-
営業損失	¥ (448)	¥ (746)
減価償却費および償却費	107	62
直営店売却損	23	-
有形固定資産およびその他の無形固定資産の除却損 (ともに純額)	6	34
長期性資産の減損	63	107
株式報酬費用	197	-
調整後 EBITDA	¥ (52)	¥ (543)
調整後 EBITDA マージン	(1.0) %	(16.3) %

#### 2021 年 12 月期の月次経営指標 (KPI)

当社は、2021 年 12 月 31 日に終了した年度の経営指標 (KPI) を報告しています。データは、財務および顧客データの比較が可能なすべてのサロンについて提供されており、そのような情報が得られない一部のサロンは除外されています。

- 2021 年 12 月末の店舗数は、前年同月の 290 店舗から 312 店舗に増加しました。
- 2021 年 12 月期の総顧客数は、前年の 650,050 名から 781,438 名に増加しました。
- 顧客一人当たりの売上高は、前期の 6,286 円から 2021 年 12 月期には 6,445 円と増加しました。
- 顧客リピート率は、2022 年 12 月期は 81.9%となり、前年度の 81.8%とほぼ変わりませんでした。
- 2021 年 12 月期の稼働率は、前年度の 43.5%から 47.6%へと改善しました。
- 2021 年 12 月のデータ採取可能サロン総数は 221 店舗で、2020 年 12 月と変化がありませんでした。



## マネジメントディスカッション

メディロム・ヘルスケア・テクノロジーズ CEO の江口康二は、以下の通り述べています。「2021年12月期に達成した収益の伸び、粗利益率および調整後 EBITDA の改善、営業利益率の向上を嬉しく思っています。直営店とフランチャイズ店が補完的に貢献し、今年の順調な営業成績につながりました。2021年も COVID-19 の影響がありましたが、全社が目標に向かって結束し、最悪の事態を克服し、好調に1年を終えることができました。当社は、2021年度決算の監査完了に向けて、会計監査人とともに真摯に取り組んでいます。2022年も成長の勢いを持続させたいと考えています。」

## 決算速報値

このプレスリリースに含まれる業績は速報値であり、監査を受けておらず、2021年12月期の当社の監査済み財務諸表が完成した時点で変更される可能性があります。このプレスリリースに記載されている2021年12月期の業績は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。そのため、このプレスリリースに含まれる財務情報は、2021年12月31日終了年度の当社の財務諸表に反映される情報と異なる可能性があります。2021年12月期の当社の財政状態および経営成績をより完全に理解するためには、追加的な情報および開示が必要となります。従って、この暫定的な情報に対して過度の信頼を置くべきではありません。

## 株式会社メディロムについて

メディロムは健康管理サービスを目的とした「Re. Ra. Ku®」を中心に、全国310店舗(2022年3月末現在)のリラクゼーションスタジオを展開しています。2015年よりヘルステックビジネスに参入し、オンデマンドトレーニングアプリ「Lav®」を利用した「特定保健指導」や体質改善プログラムを実施しております。また2020年にはデバイス事業に参入し、世界初の無充電スマートトラッカー「MOTHER Bracelet」(旧称:「MOTHER Tracker®」)の開発に成功しました。今後は、創業以来蓄積した生活習慣データを基にしたデータ解析事業へも事業領域を広げて参ります。

URL : <https://medirom.co.jp/>

## 将来の見通しに関する記述

本リリースに記載されている情報には、1995年米国私的証券訴訟改革法のセーフハーバー規定に基づく将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述には、当社が達成しうる、あるいは想定する経営成績、財政状態、事業戦略および計画、市場機会、競争的地位、業界環境および将来的成長機会に関する予想や期待が含まれる場合があります。また、将来の見通しに関する記述は、「見通し」、「見込み」、「予想」、「予測」、「計画」、「目標」、「期待」、「可能性」、「意図」、「想定」等の将来の出来事や結果の不確実性を示す用語によって示されることがあります。これらの記述は、将来の事象や当社の将来の財務状況に関するものであり、既知および未知のリスク、不確実性、その他の要因が含まれてお



り、これらは場合によっては当社がコントロールできないものであり、実際の結果、活動水準、業績、成果に重大な影響を与える可能性があるため、過度に信頼しないようにお願いします。

将来の見通しに関する記述は、将来の事象に関する当社の現在の見解を反映したものであり、当社の事業、経営成績、成長戦略、流動性に関するこれらおよびその他のリスク、不確実性、前提事実の影響を受けます。当社は、理由の如何を問わず、これらの将来の見通しに関する記述を公に更新または修正する義務を負うものではなく、また、将来新たな情報が入手可能になったとしても、実際の結果がこれらの将来の見通しに関する記述で予想されたものと大きく異なる可能性がある理由を更新する義務を負うものではありません。

注) 本プレスリリースの原文は英語であり、本文は原文に基づき日本語意訳を行った参考資料となります。

#### お問い合わせ

株式会社メディロム IR チーム

E-MAIL : [ir@medirom.co.jp](mailto:ir@medirom.co.jp)